

「消費生活に関するパネル調査」について (第23回調査結果)

公益財団法人家計経済研究所では、1993年より継続している「消費生活に関するパネル調査」の第23回調査を2015年10月に実施いたしました。最新の調査から明らかになったことをご紹介します。

1. 親元未婚女性の10年間の変化

- (1) 収入・支出に変化は少ないものの堅実化の傾向 (☞ 2ページ)
- (2) 生活程度が「中の下」と思う人が増加 (☞ 3ページ)

2. 10年前も現在も親元にいる未婚女性の状況

親と同居する未婚ミドル女性、生活程度が「中の下」と感じる人が増加 (☞ 4~5ページ)

3. 30~50代夫婦の貯蓄習慣

- (1) 定期的に一定額の貯蓄ができているのは4分の1の世帯 (☞ 6ページ)
- (2) 家計を一度チェックしてみるだけでも貯蓄に効果的 (☞ 7ページ)
- (3) 共働きは貯蓄の面でやっぱり有利? (☞ 8ページ)
- (4) 働き方にかかわらず定期的な家計簿記帳には貯蓄に効果的 (☞ 9ページ)

【お問合せ先】

公益財団法人 家計経済研究所
〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-7 前川九段ビル3階
電話 03(3221)7291 FAX 03(3221)7255
E-mail info@kakeiken.or.jp URL <http://www.kakeiken.or.jp/>
担当: 次席研究員 久木元真吾 (kukimoto@kakeiken.or.jp)
次席研究員 坂口 尚文 (sakaguchi@kakeiken.or.jp)